

第13回 四大学連合文化講演会

環境・社会・人間における 「安全・安心」を探る

— 安全で安心の出来る社会 —

学術研究の最前線をやさしく解説する

2018.11.22 Thu
13:00~16:30

■ **場所:** 一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

■ **定員:** 500名(入場無料)

■ **締切:** 2018年11月12日(月)

※定員に達し次第、締切りますのでお早めにお申し込み下さい。

■ **主催:** 四大学連合(東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)

■ **企画:** 四大学連合附置研究所

■ **後援:** お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会

PROGRAM

12:20	開場
13:00-13:10	開会挨拶 東京工業大学 学長
13:10-13:20	来賓挨拶 文部科学省研究振興局学術機関課
13:20-14:00	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 位高 啓史 「寝たきりを防ぐ:遺伝子治療・創生医療の応用」
14:00-14:40	東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授 近藤 信彰 「中東における宗派紛争:歴史と現在」
14:40-15:00	休憩
15:00-15:40	東京工業大学 先端原子力研究所・所長 教授 竹下 健二 「福島第一原子力発電所事故で発生した汚染土壌の浄化技術」
15:40-16:20	一橋大学 経済研究所 准教授 堤 雅彦 「人口減少時代における経済的な安心・安全の確保」
16:20-16:30	閉会挨拶 東京医科歯科大学 学長

講演者紹介

東京医科歯科大学
生体材料工学研究所・教授

位高 啓史 (いたか けいじ)

1991年東京大学医学部卒業。1997年東京大学医学部附属病院助手、2003年医学博士。ハーバード大学マサチューセッツ総合病院客員研究員、東京大学大学院医学系研究科特任准教授などを経て、2017年より現職。専門はドラッグデリバリーシステム(DDS)、生体材料、遺伝子治療、創生医療。主な著作は「医療ナノテクノロジー 最先端医学とナノテクの融合」(杏林図書)など。2016年日本DDS学会水島賞などを受賞。

<http://www.tmd.ac.jp/~funde/www/biofunctions/biofunctions-j.html>



東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所・教授

近藤 信彰 (こんどうのぶあき)

1989年東京大学文学部卒業。1997年東京大学博士(文学)。東京都立大学人文学部助手、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授を経て、2015年より現職。専門は、イラン史、ペルシア語文化圏史。現在、イスラム諸王朝の正統性にかかわるプロジェクトを主催。主な著作として、Persian Documents (編著、Routledge Curzon)、『近世イスラム国家史研究の現在』(編著、アジア・アフリカ言語文化研究所、) Islamic Law and Society in Iran (著書、Routledge)。

<http://www.aatufs.ac.jp/ja/stafflist/kondo>



東京工業大学
科学技術創成研究院先端原子力研究所・所長

竹下 健二 (たけした けんじ)

東京工業大学大学院理工学研究科原子核工学専攻博士課程修了(工学博士)。1996年東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環境学専攻助教授、2002年資源化学研究所准教授、2010年原子炉工学研究所(現:先端原子力研究所)教授、2018年先端原子力研究所所長。専門は核燃料サイクル工学、バックエンド工学、廃棄物処理工学、分離工学。受賞は社団法人化学工学会賞(論文賞)など。

<http://www.r.titech.ac.jp/~takeshita/>



一橋大学
経済研究所・准教授

堤 雅彦 (つつまさひこ)

経済学修士(慶應義塾大学)。国際関係学修士及び地域研究学(東アジア)修士(コロンビア大学)。94年に経済企画庁(現内閣府)入庁後、金融庁、OECD、内閣府、内閣官房等に勤務し、2017年9月より現職。近著作に、『日EU・EPA等の経済効果分析』(共編著)内閣官房TTP等政府対策本部 2017年12月、『地域の経済2017—稼ぐ力を高める—』(編著)内閣府 2017年8月など。

<http://www.eih-u.ac.jp/japanese/faculty/sutsumi.html>



お申し込み

参加ご希望の方は、インターネット・ハガキ・FAX いずれかにてお申し込み下さい。

参加申し込みサイト

http://www.tokyo-4univ.jp/lecture_information/

※ご応募いただいた個人情報はご本人の承諾なく本講演会の実施目的以外には使用いたしません。



東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この17年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第13回の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

講演要旨

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授

位高 啓史

寝たきりを防ぐ：遺伝子治療・創生医療の応用

高齢化に伴い、軟骨、骨、筋肉などに加齢変化が進むことは避けられない。これを最小限にし、可能であれば創生・再建するための新しい治療法が活発に研究されている。本講演ではその一端をご紹介します、健康長寿社会の実現に向けて一緒に考えていきたい。

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授

近藤 信彰

中東における宗派紛争：歴史と現在

イラク、シリア、イエメンなど、近年、中東で勃発した悲惨な紛争・内戦は、スンナ派、シーア派などの「宗派」でその原因・背景が説明されることが多い。この宗派の違いはどのようなものであり、紛争とどう結びつくのか、歴史的視点から考える。

東京工業大学 科学技術創成研究院 先端原子力研究所・所長

竹下 健二

福島第一原子力発電所事故で発生した汚染土壌の浄化技術

2011年3月の福島第一原子力発電所事故に伴う放射性セシウムのフォールアウトにより大量に発生した汚染土壌の浄化・再利用と放射性廃棄物の減容処分が強く求められている。本講演では、汚染土壌処理・処分に関する最新の研究動向を紹介し、福島 of 早期復興を環境回復の視点から考えていきたい。

一橋大学 経済研究所 准教授

堤 雅彦

人口減少時代における経済的な安心・安全の確保

5年以上も景気拡張が続いているものの、人口減少や人口密度の低下が経済活動の制約となる地域も増えており、将来への不安は残っている。講演では、人口減少が経済に与える問題を具体的に紹介し、それへの対処と政策の現状を概観する。

《会場案内》



- 半蔵門線・■ 三田線・■ 新宿線「神保町駅」A8 出口徒歩3分
- 東西線「竹橋駅」1b 出口徒歩4分

《一橋講堂》(千代田区一ツ橋2-1-2)

学術総合センター内 如水会館の隣の建物

《FAX 用参加申込書》(送付先: 045-924-5973)

第13回 四大学連合文化講演会参加申込書

(フリガナ) 氏名 _____ 年齢(_____ 歳)

所属先 _____

役職 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____

FAX _____

E-mail _____

お申し込みのきっかけ(番号に○を付けてください)

- ① 講演会のホームページを見て _____)
- ② 日本経済新聞の記事・広告を見て _____)
- ③ チラシ・ポスターを見て _____)
- ④ 大学からの案内(大学名等: _____)
- ⑤ その他(_____)

※お申込みいただいた個人情報は、本件以外の目的で使用することはありません。